

# 翔べ！松中生

令和4年度 第2号 4月28日発行

一流を目指して！

校長 齋藤 明

古利根川の水かさが増し、まもなく田植えの季節を迎えようとしています。

新年度から、早くも1ヶ月が過ぎ、子どもたちも新たな仲間達との学校生活にも慣れ、協力しながら順調に過ごす日々が続いています。

今年は、1年生の元気な姿がとてもよく目立ちます。登校時のあいさつや授業中の元気な姿など、とても初々しく、そして中学生として頑張ろうとする気持ちがよく伝わってきます。

また、2年生は5月の宿泊体験学習、3年生も7月の修学旅行に向けて、意欲的に取り組む姿が感じられ、学校全体でとても生き生きとした新年度のスタートとなりました。

さて、生徒の皆さんは、入学や進級時に決意したそれぞれの夢や希望・目標は、達成に向けて確実に進んでいるでしょうか？毎日の生活に流されて、「あっ、そうだった！」と今振り返った人もいると思います。

5月は、年度当初の生活を振り返り、改めて目標を見据える大切な時機と捉えてください。

本校の学校教育目標は、「学び合い 支え合い 高めあう生徒」です。先生方は、この目標を皆さん全員に実践させ達成できるように、授業はもちろん行事や部活動など、様々な教育活動を通して指導しています。

目標は、常に確認していかないと忘れてしまい、行動に出せずに「絵に描いた餅」（意味：何の役にも立たないもの）となってしまいます。教室では、学校教育目標が正面に掲示されているので覚えやすく、また、日常的な生活でも全員が日々実践できています。自信を持ってください。

学校教育目標  
学び合い  
支え合い  
高め合う生徒

私は、みなさんに「一流を目指す」人になって欲しいと願っています。それは、「一流なら何人でもなれる」からです。

先日、生徒会からの目標で「自分から元気な挨拶をしよう」と提案がありました。この目標をしっかりと身につけた人は、「一流の挨拶が出来る人」ですよね。松中生全員ができれば、「一流の挨拶が出来る学校」となります。また、毎日忘れ物をせずに授業に参加できる人は、「一流の準備が出来る人」です。さらに、持久走で、自己新記録を続けて出せる人は、「一流の挑戦が出来る人」です。日常の頑張りの中にも一流がたくさんあります。

1つ1つは、簡単な事や、当たり前のことかもしれませんが、「考えを行動に移し継続して続けられる人、これこそが一流」です。

目標を見据え、行動に移す5月です！ 一流を目指し、輝け！松中生！